

株主の皆様へ

第95期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



## Contents

株主の皆様へ	1
営業の概況	2
連結財務諸表	5
(四半期連結貸借対照表・四半期連結損益計算書 ・四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	
会社概要	7
株式に関するお手続きについて	8
株主メモ	裏表紙

## 株主の皆様へ



取締役社長

小祝 寿彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。ここに、第95期（平成26年度）中間報告書をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申しあげます。

当上半期の我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、夏場の天候不順の影響により、個人消費を中心に低調に推移しました。しかし、企業業績は製造業を中心に概ね堅調で、雇用環境も改善が続いており、緩やかに回復に向かっています。ただし、輸出や生産の動きに弱さが見られるなど、先行きは予断を許さない状況にあります。

株式市場におきましては、日銀による追加金融緩和期待の後退や中国経済の先行き懸念等を背景に株価が下落する局面もありましたが、堅調な企業業績や、為替が円安基調を強めたことなどを好感し、期末にかけては年初来高値を更新する堅調な展開となりました。

このような環境下、当社の株式営業におきましては、新たなエネルギーとして注目される水素関連銘柄や、M&Aなど資金を有効に活用する企業、円安メリットを享受する自動車関連銘柄等を中心に営業を展開しましたが、個人投資家を中心に売買代金が低水準にとどまったことなどから、株式受入手数料は前年同期比で減収となりました。

一方、募集営業では、比較的高い経済成長と企業業績の伸長が見込まれるインド株式へ投資するファンド、ま

た複数の債券などに投資を行い、投資環境に応じて資産配分比率を機動的に変更するファンドの販売に注力し、残高の拡大に努めた結果、投信募集手数料は前年同期比で減収となりましたが、代行手数料は半期ベースで過去最高となりました。

この結果、連結経常利益は20億61百万円となりました。

また、当中間期の配当金につきましては、普通配当で1株当たり15円とさせていただきます。

さて、証券市場を取り巻く環境につきましては、日本経済は緩やかに回復に向かっているものの、来年10月の消費税引き上げの判断を迫られている他、地政学リスクを含めた欧州情勢など不透明な要素もあります。このような環境下、当社におきましては、最終年度となる「投信純増3ヵ年計画」の達成に向けて全力で募集営業に取り組むとともに、株式営業におきましては、質の高い情報の提供で営業資産の増大、活性化に取り組んでまいります。

また、内部管理態勢および法令順守態勢の強化に努めるとともに、お客様により一層質の高いサービスを提供できるよう、当社の企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

## 営業の概況

### 〔株式部門〕

当上半期の株式市場におきましては、日銀による追加金融緩和期待の後退、中国経済の先行き懸念等を背景に、日経平均株価は4月14日に13,910円の年初来安値を付けました。

その後、年金の株式組入比率引上げへの期待から反発の動きを強め、主要企業の4-6月決算に堅調な内容が目立ったこともあり、7月末にかけて戻りを強めました。米国の利上げ前倒し観測、中東情勢不安の高まり等により、8月上旬にかけて下落する場面もありましたが、為替相場が円安方向の動きを強め、日経平均株価は期末にかけては年初来高値の16,374円を付ける堅調な展開となりました。

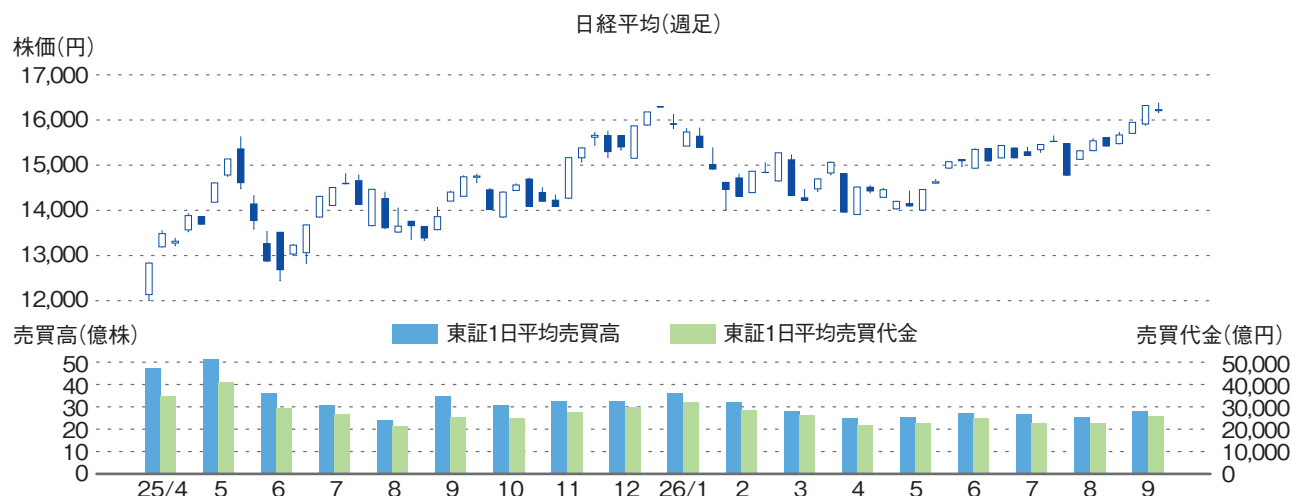
このような状況のなか、当社は新たなエネルギーとし

て注目される水素関連銘柄や、M&Aなど資金を有効に活用する企業、円安メリットを享受する自動車関連銘柄等の選別および情報提供に注力しました。しかしながら、個人投資家を中心に売買代金が低水準にとどまったことにより、株式受入手数料収入は28億50百万円（前年上半期比41.9%減）となりました。

### 〔債券部門〕

当上半期の債券市場におきましては、期初0.640%で始まった長期金利（新発10年物国債利回り）が、日銀の国債買い入れで堅調な債券需給が続くなか、中東・ウクライナなどの地政学リスクの高まりを受けた欧米長期金利の低下を背景に、徐々に低下しました。その後、長期金利は8月下旬には一時0.485%まで低下しましたが、景

日経平均株価および売買高・売買代金



気回復期待や利上げ前倒し観測による米長期金利の上昇を受けて上半期末は0.520%となりました。

債券発行市場では、調達金利の低下や事業環境の改善を背景に普通社債の発行額は5兆2,118億円（前年上半期比7.1%増）と上半期で4年ぶりの5兆円超えとなりました。

このような状況の下、当社の先物・オプションを含めた債券売買高は、国債取引の減少を受けて3,094億円（前年上半期比12.3%減）となりました。国内の債券引受高は140億円（同1.1%増）、募集・売出しの取扱高は163億円（同2.3%減）となり、債券受入手数料収入は50百万円（同6.8%減）となりました。

また、債券等トレーディング損益は新発外債や既発外債の取扱高が減少したことなどを受け、3億25百万円（前年上半期比51.6%減）となりました。

## 〔投資信託部門〕

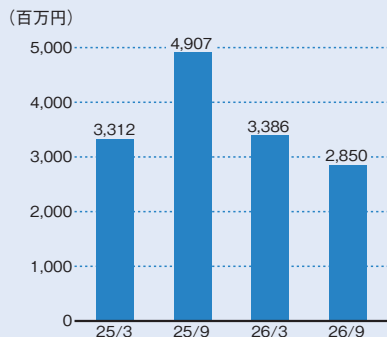
当上半期の投資信託部門は、比較的高い経済成長と企業業績の伸長が見込まれるインドの株式へ投資するファンド、また複数の債券などに投資を行い、投資環境に応じて資産配分比率を機動的に変更するファンドの販売に注力し、残高の増加に努めました。

株式型投信では、5月以降、インド株式に投資する「イーストスプリング・インド株式オープン」の販売に注力し、また比較的高い利回りが期待できる「ニッセイJリートオープン」の販売額も高水準で推移しました。

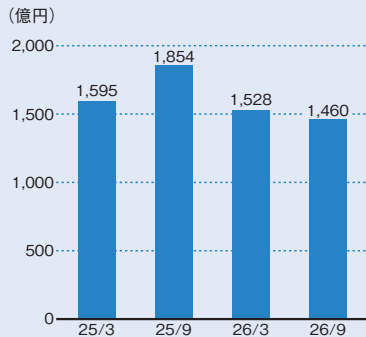
外債型投信では、米国の金利上昇局面において債券の下落リスクを低減化する「インカムビルダー」の販売に注力し、残高の増加に努めました。

以上の結果、当社株式投資信託の取扱高は1,460億円

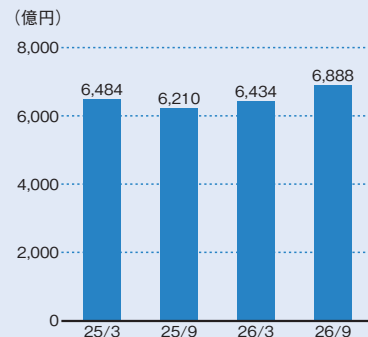
株式受入手数料収入（半期ベース）



株式投資信託取扱高（半期ベース）



株式投資信託残高



## 営業の概況

(前年上半期比21.3%減)となり、環境が良好であった前年同期より減少したことから、募集手数料は35億90百万円(同20.9%減)となりました。一方、当上半期末の当社株式投資信託の残高は、6,888億円(同10.9%増)と過去最高を更新し、代行手数料も22億94百万円(同0.8%増)と半期ベースで過去最高となりました。

### 〔オンライントレード部門〕

当上半期のオンライントレード部門は、定期的なメール配信、対面セミナーおよびインターネットによるセミナーの開催など積極的な情報配信を行うとともに、スマートフォンで提供する機能の向上を行い、マルサントレードの利用促進に努めました。

また、新規に口座開設されたお客様の株式手数料優遇

措置を継続実施し、加えてお友達紹介制度の拡大などにより、顧客層の拡大も図りました。

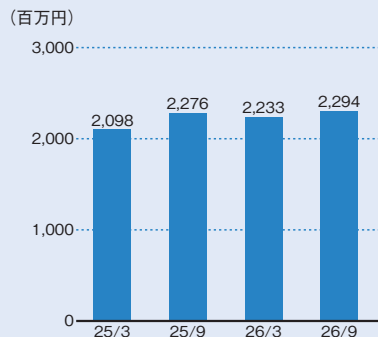
しかしながら、個人投資家の売買代金の減少もあり、株式委託売買金額は5,692億円(前年上半期比36.1%減)となりました。

### 〔損益状況〕

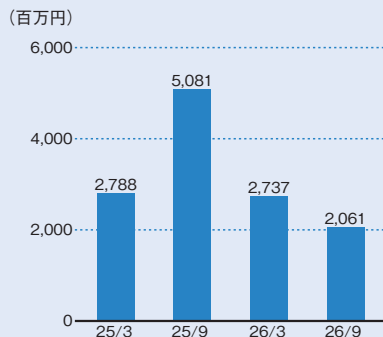
以上の結果、当上半期における連結の営業収益は95億19百万円(前年上半期比26.1%減)、経常利益は20億61百万円(同59.4%減)、純利益は27億38百万円(同28.6%減)となりました。

また、上半期末の純資産は525億81百万円、一株当たり純資産額は789円53銭となりました。

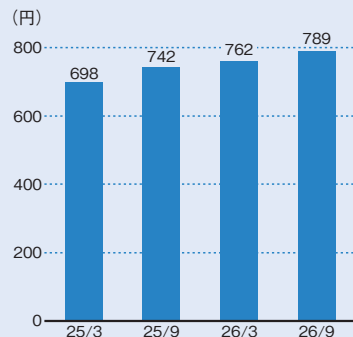
代行手数料収入(半期ベース)



経常利益(半期ベース)



1株当たり純資産額



# 連結財務諸表

## ■四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日)	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	前連結会計年度末比増減(△)
<b>資産の部</b>			
流動資産	86,774	77,611	9,163
現金・預金	31,295	18,948	12,346
預託金	22,871	21,009	1,862
トレーディング商品	2,064	2,281	△ 217
信用取引資産	20,959	26,965	△ 6,006
その他流動資産	9,584	8,406	1,178
固定資産	13,404	12,819	584
有形固定資産	2,671	2,628	43
無形固定資産	479	569	△ 89
投資その他の資産	10,253	9,622	630
資産合計	100,178	90,431	9,747
<b>負債の部</b>			
流動負債	43,855	36,095	7,759
信用取引負債	4,135	3,023	1,112
預り金	23,143	13,625	9,517
受入保証金	9,894	9,605	288
その他流動負債	6,681	9,839	△ 3,158
固定負債	3,595	3,577	17
引当金	146	128	18
金融商品取引責任準備金	146	128	18
負債合計	47,597	39,801	7,795
<b>純資産の部</b>			
株主資本	47,692	46,062	1,630
資本金	10,000	10,000	—
資本剰余金	136	117	18
利益剰余金	37,868	36,307	1,560
自己株式	△ 312	△ 362	50
その他の包括利益累計額	4,717	4,395	322
その他有価証券評価差額金	4,035	3,603	431
退職給付に係る調整累計額	682	791	△ 109
新株予約権	171	171	△ 0
純資産合計	52,581	50,629	1,952
負債・純資産合計	100,178	90,431	9,747

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表

### ■四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日	前年同期比（％）
営業収益	9,519	12,874	73.9
受入手数料	8,829	11,816	74.7
トレーディング損益	396	742	53.4
金融収益	293	315	93.1
金融費用	49	44	111.8
純営業収益	9,470	12,829	73.8
販売費・一般管理費	7,602	8,009	94.9
営業利益	1,867	4,820	38.8
営業外収益	194	264	73.6
営業外費用	1	3	34.7
経常利益	2,061	5,081	40.6
特別利益	1,578	1,544	102.2
特別損失	28	103	27.5
税金等調整前四半期純利益	3,611	6,522	55.4
法人税、住民税及び事業税	552	2,686	20.6
法人税等調整額	320	△ 1	—
法人税等合計	872	2,684	32.5
少数株主損益調整前四半期純利益	2,738	3,837	71.4
四半期純利益	2,738	3,837	71.4

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,670	9,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	255	979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,594	△ 687
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△ 33
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	12,346	9,603
現金及び現金同等物の期首残高	18,948	18,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,295	28,272

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



株主数	32,151名(前年上半期末比 5,910名増) (うち単元株主数 30,869名)
発行済株式の総数	67,398,262株
単元株式数	100株

主な株主の状況 (上位10名) (平成26年9月30日現在)

株主名	持株数	出資比率
日本生命保険相互会社	5,230 (千株)	7.88 (%)
公益財団法人長尾自然環境財団	4,746	7.15
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,355	3.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,057	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	995	1.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	958	1.44
株式会社みずほ銀行	940	1.42
長尾 愛一郎	902	1.36
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	740	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	626	0.94

(注) 1. 当社は、自己株式として1,016千株所有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2. 出資比率の算出は、発行済株式の総数から自己株式を除いております。

役員

<取締役および監査役>

取締役会長 (代表取締役)	長尾 榮次郎
取締役社長 (代表取締役)	小祝 寿彦
取締役 (社外取締役)	長谷川 明
取締役	正岡 利之
取締役 (社外取締役)	大西 善一郎
常勤監査役	相馬 和男
常勤監査役 (社外監査役)	慶野 淳
常勤監査役 (社外監査役)	藤井 滋
監査役	小久保 恒哉

<執行役員>

常務執行役員	山崎 昇
執行役員	原田 哲也
執行役員	山崎 弘義
執行役員	大庭 智
執行役員	浜野 邦彦
執行役員	齋藤 哲也
執行役員	布川 巧
執行役員	武藤 彰
執行役員	菊地 稔
執行役員	富樫 真浩
執行役員	正岡 利之 (取締役兼務)
執行役員	増田 公彦
執行役員	服部 誠
執行役員	片野 健児



## 【株式に関するお手続きについて】

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○单元未満株式の買取（買増）請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○配当金の受領方法の指定（*）</li> </ul>	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料）  ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

（\*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

尚、株主優待に関しましては、当社総務部までお問合せください。

丸三証券株式会社 総務部

〒102-8030 東京都千代田区麹町三丁目3番6 麹町フロントビル

TEL 03-3238-2288



### 株主優待のご案内

3月31日時点で、100株以上1,000株未満ご所有の株主様に海苔詰合せ（1,000円相当）を、1,000株以上ご所有の株主様に魚沼産コシヒカリ（新米）3kgをそれぞれ贈呈いたします。10月中旬頃に送付いたします。

### 株主総会お土産廃止のご案内

本年まで、株主総会にご出席の株主様へお土産をご用意しておりましたが、次回の株主総会より廃止させていただくこととなりました。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

### 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711（通話料無料）  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.marusan-sec.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

#### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。